

## 資料 1 - 1

## 文献情報に基づく影響評価（信頼性評価）の進捗状況について

## 1. 平成 23 年度までの取組み（概要）

## (1) 信頼性評価第 1 回について

平成 17 年度に化学物質環境実態調査が実施されたのべ 83 物質において以下の条件<sup>1)</sup>に該当した 22 物質（群）のうち、平成 8～17 年度に実施した化学物質環境実態調査等において検出された 15 物質を「化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の信頼性評価」（以下、「信頼性評価」という。）を行う物質として選定し、文献検索及び信頼性評価のための作業を実施した。

- 1)平成 17 年度化学物質環境実態調査の対象物質選定時に実施した文献調査において化学物質の内分泌かく乱作用に関する影響有りとする報告が得られた物質（群）であって、これまでに環境省において化学物質の内分泌かく乱作用に関する魚類及びほ乳類による動物試験を実施していない物質（群）

信頼性評価が終了した 10 物質のうち、7 物質について内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質とし、3 物質について現時点では試験対象物質としない物質とした。

内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質	エストロン、 <i>p</i> -ジクロロベンゼン、 <i>N,N</i> -ジメチルホルムアミド、2,4,6-トリブロモフェノール、2,4-トルエンジアミン、ヒドラジン、フェンチオン（7 物質）
現時点では試験対象物質としない物質	<i>o</i> -ジクロロベンゼン、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩、トリフルラリン（3 物質）

## (2) 信頼性評価第 2 回について

(1) で信頼性評価が終了していなかった 5 物質のうち、2 物質<sup>2)</sup>については平成 21 年度も文献検索を行い、新たに得られた報告も加えた信頼性評価を実施することとし、3 物質<sup>3)</sup>については、使用実態が認められない物質であるため、信頼性評価を実施しないこととした。

- 2) カルバリル (NAC)、ペルフルオロオクタン酸

3)トキサフェン（未登録の殺虫剤、POPs）、ピンクロゾリン（失効した殺菌剤）、メトキシクロル（失効した殺虫剤）

平成 18 年度に化学物質環境実態調査が実施されたのべ 112 物質（群）のうち、平成 8 ～ 18 年度に実施した化学物質環境実態調査において検出された 47 物質群から、現時点で使用実態が認められない物質<sup>4)</sup>、対象物質が特定できない物質<sup>5)</sup>及び ExTEND2005 において平成 20 年度までに信頼性評価の対象とした物質<sup>6)</sup>を除いた 35 物質を、化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の文献検索を行う物質とした。

4)化審法第一種特定化学物質、失効した農薬

5)「金属及びその化合物」など CAS 番号が特定できない物質

6)エストロン、カルバリル（NAC）、*o*-ジクロロベンゼン、*p*-ジクロロベンゼン、*N,N*-ジメチルホルムアミド、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩、トキサフェン、トリフルラリン、2,4,6-トリプロモフェノール、2,4-トルエンジアミン、ヒドラジン、ピンクロゾリン、フェンチオン、ペルフルオロオクタン酸、メトキシクロル

検索を行った 35 物質から、検索により選抜された報告のうち、化学物質の内分泌かく乱作用に関連しない報告<sup>7)</sup>を除き 1 件以上の報告が残った 26 物質のうち、報告数が 10 件を超えた 15 物質を平成 21 年度において信頼性評価を行う物質とした。

7)体内濃度または環境中濃度の測定結果のみの報告、総説、環境中での分解性に関する報告、名称が類似した別物質に関する報告、用途のみの報告、当該物質を被験物質としてではなく溶媒等として使用した報告、急性毒性に関する報告

「化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の信頼性評価の進め方」に従って、( 2 ) の 2 物質及び の 15 物質の合計 17 物質について、信頼性評価を行った。

信頼性評価が終了した 17 物質のうち、11 物質について内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質とし、6 物質について現時点では試験対象物質としない物質とした。

内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質	カルバリル（NAC）、カルボフラン、シアナジン、ジウロン、ジクロルボス、ジクロロプロモメタン、ダイアジノン、フェニトイン、フェニトロチオン、フェノバルビタール、ペルフルオロオクタン酸（11 物質）
現時点では試験対象物質としない物質	アジピン酸、フェナントレン、1-ブタノール、ベンジルアルコール、メタクリル酸メチル、EPN（6 物質）

(3) 信頼性評価第3回について

平成18年度に化学物質環境実態調査が実施されたのべ112物質(群)のうち、平成8～18年度に実施した化学物質環境実態調査において検出された47物質群から、現時点で使用実態が認められない物質、対象物質が特定できない物質及びExTEND2005において平成20年度までに信頼性評価の対象とした物質を除くと、35物質あった。このうち、平成21年度に「化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の信頼性評価」(以下、「信頼性評価」という。)を実施した15物質を除いた20物質を、平成22年度に文献検索を行う物質とした。

平成19年度に化学物質環境実態調査が実施されたのべ69物質(群)のうち、平成8～19年度に実施した化学物質環境実態調査において検出された34物質群(当時のPOPs及びHCH類を除く)から、現時点で使用実態が認められない1物質<sup>8)</sup>、対象物質が特定できない2物質<sup>9)</sup>及び平成21年度までに信頼性評価の対象とした3物質<sup>10)</sup>を除いた28物質を、平成22年度に文献検索を行う物質とした。

8)ペンタクロロベンゼン：2010年4月1日に化審法第一種特定化学物質に指定

9)バナジウム及びその化合物：単体と化合物の合計値のみが示されている。

水素化テルフェニル：同族体ごとに測定されている。

10)フェナントレン、フェンチオン及びベンジルアルコール

(3) 及びにおいて選定された48物質について検索を行い、化学物質の内分泌かく乱作用に関連しない報告<sup>7)</sup>を除き1件以上の報告が残った35物質のうち、報告数が10件を超えた13物質を平成22年度において信頼性評価を行う物質とした。

「化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の信頼性評価の進め方」に従って、(3)の13物質について、信頼性評価を行った。

信頼性評価が終了した13物質のうち、7物質について内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質とし、6物質について現時点では試験対象物質としない物質とした。

内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質	アクリルアミド、アラクロール、2,4-ジクロロフェノキシ酢酸、テトラプロモビスフェノールA、ナフタレン、モリネート、りん酸トリフェニル(7物質)
現時点では試験対象物質としない物質	アクリル酸、ジノカップ、テトラクロロベンゼン、トリクロロベンゼン、フタル酸ジメチル、メルカプト酢酸(6物質)

#### (4) 信頼性評価第4回について

平成20年度に化学物質環境実態調査が実施されたのべ76物質(群)のうち、平成8～20年度に実施した化学物質環境実態調査において検出された45物質群(当時のPOPs及びHCH類を除く)から、現時点で使用実態が認められない12物質<sup>1)</sup>、対象物質が特定できない1物質<sup>2)</sup>及び平成22年度までに信頼性評価の対象とした2物質<sup>3)</sup>を除いた30物質を、平成23年度に文献検索を行う物質とした。

信頼性評価第2回～第3回での文献検索により得られた報告数が9件以下であった33物質についても平成23年度に文献検索を行う物質とした。

1)6-*tert*-ブチル-3-メチルチオ-1,2,4-トリアジン-5(4*H*)-オン(別名:メトリブジン-デスアミノ)及び6-*tert*-ブチル-1,2,4-トリアジン-3,5(2*H*,4*H*)-ジオン(別名:メトリブジン-デスアミノ-ジケト):分解物

クロルデコン、2,2,2-トリクロロ-1,1-ビス(4-クロロフェニル)エタノール(別名:ケルセン又はジコホル)、2,4,6-トリ-*tert*-ブチルフェノール、テトラプロモジフェニルエーテル類、ペンタプロモジフェニルエーテル類、ヘキサプロモジフェニルエーテル類、ヘプタプロモジフェニルエーテル類、ヘキサクロロプタ-1,3-ジエン、2-(2*H*-1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-*tert*-ブチルフェノール及びポリ塩化ナフタレン類:化審法第一種特定化学物質

2)ジオクチルスズ化合物:単体と化合物の合計値のみが示されている。

3)フタル酸ジ-*n*-ブチル及び*N*-メチルカルバミン酸 1-ナフチル(別名:NAC又はカルバリル)

平成12～21年度に「環境基準項目」として公共用水域水質測定が実施された29項目及び平成6～21年度に「要監視項目」として公共用水域水質測定が実施された28項目の合計57項目から、現時点で使用実態が認められない1物質<sup>4)</sup>、対象物質が特定できない19項目<sup>5)</sup>、平成22年度までに信頼性評価の対象とした6物質<sup>6)</sup>及び(4)において文献検索を行うとした1物質<sup>7)</sup>を除いた30物質を、平成23年度に文献検索を行う物質とした。

4)PCB:化審法第一種特定化学物質

5)カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、全窒素及び全燐、全亜鉛、オキシ銅(有機銅)、ニッケル、モリブデン、アンチモン、全マンガン及びウラン:単体と化合物の合計値のみが示されている。

6)*p*-ジクロロベンゼン、ダイアジノン、フェニトロチオン、EPN、ジクロルボス及びフタル酸ジエチルヘキシル

7)フェノブカルブ

(4)、及びにおいて選定された93物質について検索を行い、化学物質の内分泌かく乱作用に関連しない報告を除き1件以上の報告が残った72物質のうち、報

告数が 10 件以上であった 23 物質を平成 23 年度において信頼性評価を行う物質とした。23 物質の名称と主な用途を表 1 に示した。

「化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の信頼性評価の進め方」に従って、化学物質環境実態調査において検出された 23 物質について、信頼性評価を行った。23 物質のうち 8 物質についての信頼性評価結果は平成 24 年度に報告済みである。信頼性評価が終了した 8 物質のうち、5 物質について内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質とし、3 物質について現時点では試験対象物質としない物質とした。残りの 15 物質について今回報告を行う（資料 1 - 2 参照）。

内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質	アトラジン、2,6-ジ- <i>tert</i> -ブチル-4-メチルフェノール、1-ナフトール、4- <i>tert</i> -ペンチルフェノール、メソミル（5 物質）
現時点では試験対象物質としない物質	アクロレイン、ジエチレングリコール、2-プロパノール（3 物質）

表 1 平成 23 年度に信頼性評価の対象とする物質（信頼性評価第 4 回）  
（名称五十音順）

名称	主な用途
信頼性評価結果について平成 24 年度に報告した 8 物質	
アクロレイン	医薬品（メチオニンなど）、繊維処理剤、アリルアルコール、グリセリン、グルタルアルデヒド、1,2,6-ヘキサントルオール及び架橋結合剤の原料。コロイド状オスミウム、ロジウム、ルテニウムの製造、溶剤等
アトラジン（別名：2-クロロ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-1,3,5-トリアジン）	農薬（除草剤）
ジエチレングリコール	プラスチック用（アルキド、ポリエステル、ポリウレタン）、印刷インキ、ソルブルオイル、繊維用接着剤、ブレーキ油、可塑剤、ユデックス抽出用溶剤、ガス脱水用、セロハンの柔軟剤、セメント混和剤等
2,6-ジ- <i>tert</i> -ブチル-4-メチルフェノール（別名：BHT）	酸化防止剤及びプラスチックの劣化防止剤等
1-ナフトール	染料の原料
2-プロパノール（別名：イソプロピル	合成アセトンの中間原料。溶剤、ニトロセルロースラッカー溶剤、

アルコール)	印刷インキ用抽出溶剤、脱水剤、ヘアトニックローション配合剤、製薬用、消毒用、航空機用の凍結防止、ラジエーター冷却水の氷結防止、ブレーキ油調合剤、合成原料等
4-tert-ペンチルフェノール	精密化学品（染料中間物・ゴム薬品・界面活性剤他）の原料、写真感光材料の原料
メソミル（別名：Sメチル-N(メチルカルバモイルオキシ)チオアセトイミダート）	農薬（殺虫剤）
信頼性評価結果について今回報告する 15 物質	
デカブロモジフェニルエーテル（PBDE#209）	プラスチック製品等の難燃剤
クロロホルム*	溶媒、溶剤
シマジン*	農薬（除草剤）
チウラム*	農薬（殺菌剤）、ゴムの加硫促進剤等
テトラクロロエチレン*	機械金属部品・電子部品の脱脂、ドライクリーニング用洗剤等
1,1,1-トリクロロエタン*	機械金属部品・電子部品の脱脂、ドライクリーニング用洗剤等 モントリオール議定書付属書の規制物質で、1996年以降エッセンシャルユースを除き生産及び消費が全廃されている。
トリクロロエチレン*	粘着剤、溶剤等
エピクロロヒドリン*	エポキシ樹脂、接着剤、塗料、医療用グリセリン、合成ゴム、繊維や紙の表面改質等
塩化ビニルモノマー*	ポリ塩化ビニルの原料
キシレン*	溶媒
四塩化炭素*	機械器具用洗剤、殺虫剤、ドライクリーニング用洗剤、フロンガス製造、化学工業原料等 モントリオール議定書付属書の規制物質で、1996年以降試験としての使用を除き生産及び消費が全廃されている。
ジクロロメタン*	プリント基板洗浄、金属脱脂洗浄、冷媒、ラッカー等
トルエン*	溶媒
ベンゼン*	染料、溶剤、合成ゴム、合成皮革、合成顔料等
ホルムアルデヒド*	溶媒、樹脂原料、接着剤、塗料、防腐剤

\* 公共用水域水質測定対象物質

## 2. 平成 24 年度の信頼性評価（信頼性評価第 5 回）の実施について

### （1）化学物質環境実態調査結果

平成 21 年度に化学物質環境実態調査が実施されたのべ 50 物質（群）のうち、平成 8～21 年度に実施した化学物質環境実態調査において検出された 27 物質（群）（POPs 対象物質 10 物質（群）及び HCH 類を除く）から、現時点で使用実態が認められない 7 物質（群）<sup>1)</sup> 及び平成 23 年度までに信頼性評価の対象とした 4 物質（群）<sup>2)</sup> を除いた 16（群）物質を、平成 24 年度に文献検索を行う物質とした。信頼性評価第 2 回～第 4 回での文献検索により得られた報告数が 9 件以下であった 48 物質についても平成 24 年度に文献検索を行う物質とした。

1) ペンタクロロベンゼン、ヘキサブROMOピフェニル類、ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）、テトラブROMOジフェニルエーテル類、ペンタブROMOジフェニルエーテル類、ヘキサブROMOジフェニルエーテル類及びヘプタブROMOジフェニルエーテル類：化審法第一種特定化学物質

2) 2,4-ジアミノトルエン（2,4-トルエンジアミン）、デカブROMOジフェニルエーテル（PBDE#209）、テトラクロロベンゼン類（1,2,3,4-テトラクロロベンゼン、1,2,3,5-テトラクロロベンゼン及び1,2,4,5-テトラクロロベンゼン）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）

### （2）公共用水域水質測定結果

平成 12～21 年度に「環境基準項目」として公共用水域水質測定が実施された 29 項目及び平成 6～21 年度に「要監視項目」として公共用水域水質測定が実施された 28 項目ののべ 57 項目から、現時点で使用実態が認められない 1 物質（群）<sup>3)</sup>、対象物質が特定できない 18 物質（群）<sup>4)</sup>、平成 23 年度までに信頼性評価の対象とした 20 物質<sup>5)</sup> 及び（1）において文献検索を行うとした 1 物質<sup>6)</sup> を除いた 17 物質のうち、検出された 17 物質を、平成 24 年度に文献検索を行う物質とした。

3) PCB：化審法第一種特定化学物質

4) カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、全窒素及び全燐、全亜鉛、ニッケル、モリブデン、アンチモン、全マンガン及びウラン：単体と化合物の合計値のみが示されている。

5) *p*-ジクロロベンゼン、ダイアジノン、フェニトロチオン、EPN、ジクロルボス、フタル酸ジエチルヘキシル、エピクロロヒドリン、塩化ビニルモノマー、キシレン、クロロホルム、四塩化炭素、ジクロロメタン、シマジン、チウラム、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、トルエン、ベンゼン及びホルムアルデヒド

6) フェノバルブ

### （3）要調査項目等存在状況調査結果

平成 14～21 年度に「要調査項目」として水質又は底質測定が実施されたのべ 262

項目から現時点で使用実態が認められない 6 物質（群）<sup>7)</sup>、対象物質が特定できない 5 物質（群）<sup>8)</sup>、平成 23 年度までに信頼性評価の対象とした 39 物質（群）<sup>9)</sup> 及び( 1 )又は( 2 )において文献検索を行うとした 13 物質<sup>10)</sup>を除いた 199 物質( 群 )のうち、検出された 76 物質（群）を平成 24 年度に文献検索を行う物質とした。

7) 塩素酸（塩素酸塩）：塩素酸の分解物

アルドリン、エンドリン及びディルドリン：化審法第一種特定物質

ピンクロゾリン及びメトキシクロル：失効した殺菌剤及び殺虫剤

8) アンチモン、ウラン（ウラニウム）、カドミウム、全マンガン（マンガン及びその化合物）及び銅（及びその化合物）：単体と化合物の合計値のみが示されている。

9) アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル、オクタクロロスチレン、4-*t*-オクチルフェノール、ケルセン、2,4-ジクロロフェノール、ノニルフェノール、フタル酸ブチルベンジル、フタル酸ジ-*n*-ヘプチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、フタル酸ジシクロヘキシル、ペンタクロロフェノール及びマラチオン（マラソン）、アクリルアミド、アクロレイン、アトラジン、アラクロール、エチルパラニトリロフェニルチオノベンゼンホスホネイト（EPN）、エピクロロヒドリン、塩化ビニルモノマー、カルボフラン、クロロベンゼン（モノクロロベンゼン）、クロロホルム、シアナジン、ジウロン、2,4-ジクロロフェノキシ酢酸（2,4-D）、*p*-ジクロロベンゼン、ジ-*tert*-ブチル-4-メチルフェノール（BHT）、ダイアジノン、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩類（LAS）、1,2,3-トリクロロベンゼン、トリフルラリン、ナフタレン、フェナントレン、フェニトロチオン（MEP）、フタル酸ジメチル、ホルムアルデヒド、メソミル（*S*-メチル-*N*（メチルカルバモイルオキシ）チオアセトイミダート）、メチルカルバミン酸 1-ナフチル（NAC 又はカルバリル）、モリネート及びりん酸トリフェニル

10) アントラキノン（9,10-アントラセンジオン）、イソキサチオン（カルホス）、クロルニトロフェン、*p*-クロロフェノール（4-クロロフェノール）、ジイソプロピルナフタレン類、1,4-ジオキサソ、2,6-ジニトロトルエン、ジフェニルアミン、チオベンカルブ、トルクロホスメチル、ビフェニル及びフェノール

#### （ 4 ）平成 24 年度において信頼性評価を行う物質

（ 1 ）～（ 3 ）において選定された 156 物質（群）について検索を行い、化学物質の内分泌かく乱作用に関連しない報告を除き 1 件以上の報告が残った 93 物質（群）のうち、報告数が 10 件以上であった 22 物質（群）を平成 24 年度において信頼性評価を行う物質とした（別添 1 ）。22 物質（群）の名称と主な用途を表 2 に示した。

「化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の信頼性評価の進め方」（参考資料 2 ）に従って、（ 4 ） の 22 物質について、信頼性評価を実施する。平成 24 年度には 8 物質（クレゾール、クロロベンゼン、2,4-ジニトロフェノール、チオベンカルブ、1,2,3-トリクロロプロパン、4-ヒドロキシ安息香酸メチル、ヒドロキノン及びフェノール）の信頼性評価を実施した（資料 1 - 3 参照）。残りの 14 物質については信頼性評価を実施



中である。

表2 平成24年度に信頼性評価の対象とする22物質

名称		主な用途
信頼性評価結果について今回報告する8物質		
クレゾール	<i>m</i> -クレゾール	原料（合成樹脂、医薬、農薬）、消毒剤、ワニス溶剤 <sup>1)</sup>
	<i>o</i> -クレゾール	原料（農薬、香料、エポキシ樹脂、半導体封止材料）、消毒剤 <sup>1)</sup>
	<i>p</i> -クレゾール	原料（フェノール樹脂、医薬、農薬、香料） <sup>1)</sup>
クロロベンゼン		染料中間体、溶剤（エチルセルロース、塗料） <sup>1)</sup>
2,4-ジニトロフェノール		染料中間体 <sup>1)</sup>
チオベンカルブ*		農薬（除草剤） <sup>1)</sup>
1,2,3-トリクロロプロパン		洗浄剤、可塑剤原料 <sup>1)</sup>
4-ヒドロキシ安息香酸メチル		防カビ剤（化粧品、医薬用） <sup>1)</sup>
ヒドロキノン		写真現像薬、ゴム薬品、染料中間体 <sup>1)</sup>
フェノール*		原料（ビスフェノールA、アニリン、パークライト等合成樹脂）、 中間体原料（医薬、染料、可塑剤中）、消毒剤 <sup>1)</sup>
信頼性評価結果を実施中の14物質		
アセトアルデヒド**		有機中間原料、防腐剤、溶剤、還元剤、医療用 <sup>1)</sup>
エチルベンゼン**		スチレンモノマー原料、有機合成原料、溶剤、ラッカーの希釈剤 <sup>1)</sup>
過塩素酸**		分析用試薬、有機合成原料 <sup>1)</sup>
グリホサート（別名：ラウンドアップ）**		農薬（除草剤） <sup>1)</sup>
3,4-ジクロロアニリン**		中間体（農薬、染料） <sup>1)</sup>
2,4-ジニトロトルエン**		有機合成薬品、トルイジン原料、染料中間体 <sup>1)</sup>
トリクロサン**		殺虫剤、樹脂添加剤、医薬部外品添加物（殺菌消毒剤） <sup>2)</sup>
ニトロベンゼン**		アニリン原料、中間体（染料、香料） <sup>1)</sup>
二硫化炭素**		溶剤（ビスコースレーヨン、セロハン）、原料（殺虫剤、医薬）、 ゴム加硫促進剤、浮遊選鉱剤、重金属捕捉剤 <sup>1)</sup>
フェンバレレート**		農薬（殺虫剤） <sup>1)</sup>
フタル酸ジイソブチル**		可塑剤 <sup>1)</sup>
フルタミド（別名：2-メチル-N[4-ニトロ-3-(トリフルオロメチル)フェニル]プロパンアミド）		医薬（抗アンドロゲン剤） <sup>1)</sup>
ベノミル** <sup>3)</sup>		農薬（殺菌剤） <sup>1)</sup>
りん酸トリクレジル**		可塑剤、難燃剤、不燃性作動液、潤滑油添加剤 <sup>2)</sup>

\*公共用水域水質測定対象物質及び\*\*要調査項目等存在状況調査測定対象物質

- 1) 化学工業日報社、16112の化学商品(2012)及びバックナンバー
- 2) 製品評価技術基盤機構、化学物質情報提供システム(CHRIP)(<http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>)
- 3) ペノミルについては、カルペンダジムとして測定し、ペノミルに換算していた。

(別添1)

## 検出状況及び関連文献数

平成 21 年度諸調査の検出物質(群)については平成 24 年 8 月 7 日に検索実施。

平成 11 ~ 20 年度要調査項目の検出物質(群)については平成 24 年 9 月 27 ~ 28 日に検索実施。

昨年度検索にて関連文献数 10 未満の物質(群)については平成 24 年 8 月 22 日に再検索実施。

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H21 黒本	13311-84-7	2-メチル-N-[4-トリフルオロメチル]フェニル]プロパンアミド(別名:フルタミド)	医薬(抗アンドロゲン剤) <sup>1)</sup>		1/27 0.0026 ~ 0.0056				830  この内、抗アンドロゲン作用以外の影響に関すると思われるもの 35
H21 要調査項目	7601-90-3	過塩素酸	分析用試薬、有機合成原料 <sup>1)</sup>	平成 22 年(2010 年)推定製造量 1,400t(ナトリウム塩)、500t(アンモニウム塩) <sup>1)</sup>	検出地点あり				85
H18 要調査項目	51630-58-1	フェンバレレート	農薬(殺虫剤) <sup>1)</sup>	平成 21(2009)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 0、推計排出量 10,440、合計 10,440 農薬年度:製造 66.8t(原体)、輸出 5.8t(原体)、9.0t(製剤) <sup>3)</sup>	検出地点あり				52
H15 要調査項目	1071-83-6	グリホサート(別名:ラウンドアップ)	農薬(除草剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)農薬年度:製造 4.8t(原体)、4,091.7t(41%液剤)、1,974.9t(0.4%液剤)、2,016.9t(スプレー液剤)、輸入 889.0t(原体)、3,537.3t(製剤) <sup>3)</sup>	検出地点あり				44

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H15 要調査項目	3380-34-5	トリクロサン	殺虫剤、樹脂添加剤、医薬部外品添加物(殺菌消毒剤) <sup>4)</sup>		検出地点あり	検出地点あり			40
H14 要調査項目	75-15-0	二硫化炭素	溶剤(ビスコースレーヨン、セロハン)、原料(殺虫剤、医薬)、ゴム加硫促進剤、浮遊選鉱剤、重金属捕捉剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 4,202,746(大気 4,137,776、公共用水域 64,970、土壌 0、埋立 0)、推計排出量 638、合計 4,203,384 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果・製造・輸入量公表値 35,450t		検出地点あり			28
H14 要調査項目	78-30-8	りん酸トリクレジル	可塑剤、難燃剤、不燃性作動液、潤滑油添加剤 <sup>4)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(りん酸トリトリルとして kg/年)届出排出量 211(大気 210、公共用水域、土壌 0、埋立 0)、推計排出量 3、合計 214 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果・製造・輸入量公表値 2,548t		検出地点あり			27

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H14 要調査項目	75-07-0	アセトアルデヒド	有機中間原料、防腐剤、溶剤、還元剤、医療用 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 113,360 (大気 62,910、公共用水域 50,450、土壌 0、埋立 0)、推計排出量 2,970,261、合計 3,083,621 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 222,225t		検出地点あり			25
H20 要調査項目	17804-35-2	ペノミル	農薬 (殺菌剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 0、推計排出量 110,970、合計 110,970 平成 22(2010)農薬年度：製造 179.4t (水和剤) 輸入 94.2t (原体) 108.0t (ODS 製剤) 12.0t (SCS 製剤) 輸出 43.2t (原体) <sup>3)</sup>	検出地点あり				24
	10605-21-7	カルベンダジム(別名：MBC)	農薬 (殺菌剤 (現在は失効) (ポリウレタンシート、紙、塗料、木材用の) 防カビ剤) <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 100 ~ 1,000t 未満	検出地点あり				48

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H21 黒本	108-39-4	<i>m</i> -クレゾール	原料(合成樹脂、医薬、農薬)、消毒剤、ワニス溶剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(クレゾールとして kg/年)届出排出量 36,169 (大気 30,353、公共用水域 5,816、土壌 0、埋立 0)、推計排出量 3,289、合計 39,458				18/20 8.7 ~ 44	クレゾールとして 22
H21 黒本	95-48-7	<i>o</i> -クレゾール	原料(農薬、香料、エポキシ樹脂、半導体封止材料)、消毒剤 <sup>1)</sup>	同上				17/20 12 ~ 74	同上
H21 黒本	106-44-5	<i>p</i> -クレゾール	原料(フェノール樹脂、医薬、農薬、香料) <sup>1)</sup>	同上				19/20 7.7 ~ 67	同上
H21 黒本	123-31-9	ヒドロキノン	写真現像薬、ゴム薬品、染料中間体 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 3,043(大気 91、公共用水域 2,952、土壌 0、埋立 0)、推計排出量 107,740、合計 110,783 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 13,586t	23/23 0.0035 ~ 0.075				18

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H18 要調査項目	95-76-1	3,4-ジクロロアニリン	中間体 (農薬、染料) <sup>1)</sup>	平成 22(2010) 年度 PRTR 集計結果 (ジクロロアニリンとして kg/年) 届出排出量 0、推計排出量、合計 0 平成 19(2007) 年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 10 ~ 100t 未満	検出地点あり				17
要監視項目 (水生生物保全に係る)	108-95-2	フェノール	原料 (ビスフェノール A、アニリン、パークライト等合成樹脂)、中間体原料 (医薬、染料、可塑剤中)、消毒剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010) 年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 392,778 (大気 382,731、公共用水域 10,047、土壌 0、埋立 0)、推計排出量 75,727、合計 468,505 平成 21(2009) 年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 895,332t	H16 ~ H21 生物特 A 指針値超過地点あり				13
H14 要調査項目	100-41-4	エチルベンゼン	スチレンモノマー原料、有機合成原料、溶剤、ラッカーの希釈剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010) 年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 14,383,978 (大気 14,381,29、公共用水域 2,672、土壌 11、埋立 0)、推計排出量 17,169,748、合計 31,553,726 平成 21(2009) 年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 1,814,140t	検出地点あり				12

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H18 要調査項目	98-95-3	ニトロベンゼン	アニリン原料、中間体（染料、香料） <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 2,004 (大気 1,345、公共用水域 659、土壌 0、埋立 0)、推計排出量 0、合計 2,004 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 169t	検出地点あり				12
H20 黒本 H21 黒本	99-76-3	4-ヒドロキシ安息香酸メチル	防カビ剤（化粧品、医薬用） <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 10 (大気 0、公共用水域 10、土壌 0、埋立 0)、推計排出量、合計 10 平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 1,000 ~ 10,000t 未満	H20 1/3 0.003			H21 0/6 -	12
H14 要調査項目	84-69-5	フタル酸ジイソブチル	可塑剤 <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 100 ~ 1,000t 未満	検出地点あり	検出地点あり			12



区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H21 黒本	108-90-7	クロロベンゼン	染料中間体、溶剤(エチルセルロース、塗料) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 257,263(大気 255,809、公共用水域 1,454、土壌 0、埋立 0)、推計排出量 101,225 総計 358,488 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果製造・輸入量公表値 6,134t			貝魚 3/13 貝魚 0.000056 ~ 0.0010		11
H21 黒本	96-18-4	1,2,3-トリクロロプロパン	洗剤、可塑剤原料 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 238(大気 238、公共用水域 0、土壌 0、埋立 0)、推計排出量、合計 238 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果製造・輸入量公表値 458t				20/20 1.5 ~ 150	11
H14 要調査項目	121-14-2	2,4-ジニトロトルエン	有機合成薬品、トルイジン原料、染料中間体 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(ジニトロトルエンとして kg/年)届出排出量 536(大気 106、公共用水域 430、土壌 0、埋立 0)、推計排出量 21,860、合計 22,396		検出地点あり			10

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H21 黒本	51-28-5	2,4-ジニトロフェノール	染料中間体 <sup>4)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 56 (大気 0、公共用水域 56、土壌 0、埋立 0)、推計排出量、合計 56 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 920t	28/28 0.0010 ~ 0.23		貝魚 2/13 貝魚 0.00011 ~ 0.00015		10
環境基準項目 (人の健康の保護に係わる)  H21 要調査項目	28249-77-6	チオベンカルブ	農薬 (除草剤) <sup>1)</sup>	平成 21(2009)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 2,573 (大気 0、公共用水域 2,573、土壌 0、埋立 0)、推計排出量 130,618、合計 133,191	H12 ~ H21 基準値超過検体なしだが、検出検体有の可能性あり  検出地点あり				10
H14 要調査項目	111-76-2	エチレングリコールモノブチルエーテル	溶剤 (塗料、印刷インキ、染料、農薬) <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 10,000 ~ 100,000t 未満		検出地点あり			9

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H19 要調査項目	60-00-4	エチレンジアミン四酢酸	キレート化剤、繊維処理助剤、重金属の定量分析 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 2,194、推計排出量 53,395、合計 55,589 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 2,503t 平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 100 ~ 1,000t 未満	検出地点あり				8
環境基準項目 (人の健康の保護に係わる)	107-06-2	1,2-ジクロロエタン	塩ビモノマー、有機溶剤、原料 (エチレンジアミン、合成樹脂) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 271,996、推計排出量 2,358、合計 274,354 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 418,264t	H12 ~ H21 基準値超過検体あり				8
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	1836-77-7	クロロニトロフェン	農薬 (除草剤、現在は (販売禁止) <sup>4)</sup> )		H6 ~ H21 指針値超過地点なしだが、検出地点有の可能性あり				7

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
環境基準項目 (人の健康の保護に係わる)	542-75-6	1,3-ジクロロプロペン	農薬 (殺線虫剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 5,138、推計排出量 8,853,541、合計 8,858,679 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 6,241t	H12~H21 基準値超過検体あり				7
H19 黒本	23564-05-8	ジメチル=4,4'-( <i>o</i> -フェニレン)ビス(3-チオアロファナート) (別名:チオファネートメチル)	農薬 (殺菌剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 0、推計排出量 397,482、合計 397,482	1/9 0.00090				7
H20 黒本	21087-64-9	4-アミノ-6- <i>tert</i> -ブチル-3-メチルチオ-1,2,4-トリアジン-5(4 <i>H</i> )-オン (別名:メトリブジン)	農薬 (除草剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 0、推計排出量 25,223、合計 25,223	夏 7/20 秋 0/33 夏 0.0015 ~ 0.0044 秋 -	夏 0/20 秋 0/26 夏 - 秋 -		0/20 -	6
H15 要調査項目	129-00-0	ピレン	非意図的生成物 <sup>4)</sup>		検出地点あり				6

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H18 要調査項目	141-43-5	2-アミノエタノール、モノエタノールアミン	ガス吸収剤、原料（医薬、洗剤）、エチレンジイミン原料 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 80,992、推計排出量 2,906,083、合計 2,987,075 平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 10,000 ~ 100,000t 未満	検出地点あり				5
H20 黒本	123-30-8	p-アミノフェノール	硫化染料中間体、ゴム老化防止剤、写真現像薬原料 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 1、推計排出量 2、合計 3 (2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値(アミノフェノールとして) 100 ~ 1,000t 未満	1/3 0.010 ~ 0.014				5
H14 要調査項目	108-42-9	m-クロロアニリン	染料中間体 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(クロロアニリンとして kg/年) 届出排出量 497、推計排出量 24、合計 521	検出地点あり				クロロアニリンとして 5
H17 要調査項目	95-51-2	o-クロロアニリン	中間原料（医薬、農薬）、樹脂架橋剤 <sup>1)</sup>	同上	検出地点あり				同上
H19 要調査項目	106-47-8	p-クロロアニリン	染料中間体、医薬原料、農薬原料、樹脂架橋剤 <sup>1)</sup>	同上	検出地点あり				同上

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	106-48-9	4-クロロフェノール	染料中間物、殺菌剤、化粧品原料 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 16、推計排出量、合計 16 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 336t	2/34 0.0017 ~ 0.0027				5
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	78-87-5	1,2-ジクロロプロパン	農薬(殺虫剤)、溶剤(合成樹脂用)、くん蒸剤 <sup>2)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 70,109、推計排出量 76,822、合計 146,930 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 1,929t	H6 ~ H21 指針値超過地点なしだが、検出地点の可能性あり				5
H20 黒本	534-52-1	4,6-ジニトロ- <i>o</i> -クレゾール	有機合成原料 <sup>1)</sup>		7/7 0.0037 ~ 0.069				5
H20 黒本	132-65-0	ジベンゾチオフェン	医薬中間体 <sup>1)</sup>		13/48 0.00058 ~ 0.0039	61/64 0.00016 ~ 0.079	貝 6/7 魚 11/17 鳥 0/2 貝 0.000098 ~ 0.0013 魚 0.000084 ~ 0.00086 鳥 -		5
H18 要調査項目	86-73-7	フルオレン	中間体 (医薬、染料) <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 10 ~ 100t 未満	検出地点あり				5
H15 要調査項目	25057-89-0	ペンタゾン	農薬(除草剤、現在は失効) <sup>5)</sup>		検出地点あり				5

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H14 要調査項目	115-96-8	りん酸トリス(2-クロロエチル)	可塑剤、難燃剤、硬質ウレタンフォーム添加剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 350、推計排出量、合計 350 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入手量公表値 144t 平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入手量に関する実態調査確報値 1,000 ~ 10,000t 未満	検出地点あり	検出地点あり			5
H18 黒本	834-12-8	2-エチルアミノ-4-イソプロピルアミノ-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン (別名:アメトリン)	農薬 (除草剤、現在は失効) <sup>5)</sup>		nd ~ 5.1 1/11				4
H20 黒本	101-77-9	4,4'-ジアミノジフェニルメタン	エポキシ樹脂硬化剤、染料中間体 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 14、推計排出量 1,456、合計 1,471 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入手量公表値 1,121t	11/28 0.0011 ~ 0.016				4

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
環境基準項目 (人の健康の保護に係わる)	123-91-1	1,4-ジオキサン	洗剤、合成皮革溶剤、反応用の溶剤、塩素系溶剤安定剤、医薬原料 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 106,089、推計排出量 195,060、合計 301,149 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 5,313t	H6 ~ H21 指針値超過地点あり				4
H18 黒本	108-94-1	シクロヘキサノン	溶剤、カプロラクタム原料 <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 10,000 ~ 100,000t 未満	nd ~ 500 1/5	nd 0/5			4
環境基準項目 (人の健康の保護に係わる)	75-35-4	1,1-ジクロロエチレン	包装フィルム、紙やプラスチックフィルム類のコーティング剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 116,341、推計排出量、合計 116,341 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 3,124t	H12 ~ H21 基準値超過検体なしだが、検出検体有の可能性あり				4
H18 黒本	1194-65-6	2,6-ジクロロベンゾニトリル (別名: ジクロベニル又は DBN)	農薬 (除草剤)、染料中間体 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 34、推計排出量 167,248、合計 167,282 平成 20(2008)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 212t				0.10 ~ 0.76 7/7	4



区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	606-20-2	2,6-ジニトロトルエン	合成原料 (2,4-トルエンジアミン、染料、火薬) <sup>2)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 536、推計排出量 21,860、合計 22,396		H20 0/15 -		H14 1/6 5.3 ~ 14	4
H21 黒本	95-63-6	1,2,4-トリメチルベンゼン	原料 (トリメリット酸、ピロメリット酸、ピタミン E 原)、中間体 (医薬、染料、顔料) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 2,411,645、推計排出量 122,164、合計 2,533,809 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸出入量公表値 1598,908t	1/30 0.032				トリメチルベンゼンとして 4
H21 黒本	108-67-8	1,3,5-トリメチルベンゼン	中間体 (染料、顔料、医薬、抗酸化剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 1,246,924、推計排出量 2,755,811、合計 4,002,735	H21 0/30 -			H10 13/13 90 ~ 3,200	同上
H21 要調査項目	57018-04-9	トルクロホスメチル	農薬 (殺菌剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)農薬年度: 製造 255.4t (原体)、45.9kL (75%水和剤)、56.0kL (50%水和剤)、338.3t (粒剤)、輸出 100.1t (原体)、121.3t (製剤) <sup>3)</sup>	検出地点あり				4
H20 黒本	106-41-2	p-プロモフェノール	殺菌剤 <sup>1)</sup>	平成 20(2008)年度化審法監視化学物質届出結果公表値なし (100t 未満)	2/34 0.0020 ~ 0.0029				4

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	141-32-2	アクリル酸- <i>n</i> -ブチル	アクリル繊維、繊維加工、塗料、紙加工、接着剤、皮革加工、アクリルゴム <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 36,447、推計排出量、合計 36,447 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 132,322t				1/20 78	3
H18 要調査項目	83-32-9	アセナフテン (別名: 1,2-ジヒドロアセナフタレン)	中間体 (農薬、染料)、合成樹脂原料 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 21,526、推計排出量、合計 21,526	検出地点あり				3
H15 要調査項目	25311-71-1	イソフェンフォス	農薬 (殺虫剤、現在は失効) <sup>5)</sup>		検出地点あり				3
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	26087-47-8	イプロベンホス	農薬 (殺菌剤) <sup>2)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 0、推計排出量 28,135、合計 28,135	H6 ~ H21 指針値超過地点あり				3
H16 要調査項目	17109-49-8	エディフェンホス	農薬 (殺菌剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量、推計排出量 1,451、合計 1,451	検出地点あり				3
H21 黒本	32536-52-0	オクタブロモジフェニルエーテル類	(ポリ臭素化ジフェニルエーテル類として) プラスチック製品等の難燃剤 <sup>6)</sup>		37/49 0.0000008 ~ 0.000056	63/64 0.0000005 ~ 0.11		温 23/37 寒 26/37 温 0.0001 ~ 0.0016 寒 0.0002 ~ 0.0071	3

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H18 要調査項目	96-23-1	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	セルロース系材料架橋剤、合成樹脂溶剤、有機合成中間体 <sup>1)</sup>	平成 21(2009)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 20,990、推計排出量 181,932、合計 202,922 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 205t	検出地点あり				3
H14 要調査項目	67-68-5	ジメチルスルホキシド	アクリル繊維の紡糸液、各種溶剤、有機合成原料 <sup>1)</sup>			検出地点あり			3
H18 黒本	109-99-9	テトラヒドロフラン	合成樹脂、塗料、接着剤溶剤、医薬、農薬製造反応溶媒 <sup>1)</sup>	平成 18年(2006年)国内需要約 60,000t (輸入 4,521t)、輸出 5,927t <sup>1)</sup> 平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 10,000 ~ 100,000t 未満				nd ~ 260 3/7	3
H19 要調査項目	139-13-9	ニトリロ三酢酸	キレート化剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 47、推計排出量、合計 47 平成 19(2007)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 125t	検出地点あり				3

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H21 黒本	63936-56-1	ノナプロモジフェニルエーテル類	(ポリ臭素化ジフェニルエーテル類として)プラスチック製品等の難燃剤 <sup>6)</sup>		32/49 0.000032 ~ 0.00050	64/64 0.000004 ~ 0.23		温 22/37 寒 27/37 温 0.0006 ~ 0.0030 寒 0.0006 ~ 0.0039	3
H14 要調査項目	71888-89-6	フタル酸ジイソヘプチル	可塑剤 <sup>1)</sup>		検出地点あり				3
H19 黒本	87-82-1	ヘキサブロモベンゼン	熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成繊維及び合成ゴム製品の難燃剤 <sup>1)</sup>		0/48 -	21/64 0.0011 ~ 0.015	貝 0/7 魚 6/16 鳥 1/2 貝 - 魚 0.0001 ~ 0.0002 鳥 0.0001 ~ 0.0002		3
H18 黒本 要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	3766-81-2	N-メチルカルバミン酸 2-sec-ブチルフェニル(別名:フェノブカルブ又はBPMC)	農薬(殺虫剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 0、推計排出量 102,034、合計 102,034	H18 0.2 ~ 5.1 10/10  H6 ~ H21 指針値超過地点なしだが、検出地点有の可能性あり				3
H20 要調査項目	62-53-3	アニリン	中間体(医薬、染料)、香料、試薬 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 10,715、推計排出量 1,035、合計 11,749 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入手量公表値 294,943t	検出地点あり				2

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H21 黒本	95-55-6	<i>o</i> -アミノフェノール	アゾ系媒染染料、写真薬原料 <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査(アミノフェノールとして) 100~1,000t 未満	8/11 0.0050~ 0.022				2
H20 黒本	78-83-1	イソブチルアルコール	有機合成溶剤、ペイント除去剤、メタクリル酸イソブチル原料 <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値(ブチルアルコールとして) 100,000~1,000,000t 未満				11/21 170~900	2
H18 黒本	598-78-7	2-クロロプロピオン酸	合成原料(医薬品、農薬) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 0、推計排出量、合計 0 平成 17年(2005年)製造 400t <sup>1)</sup>	nd 0/5			nd~1.4 4/5	2
H19 黒本 H21 黒本	38640-62-9	ジイソプロピルナフタレン類	熱媒体 <sup>1)</sup>	平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果-製造・輸入量公表値 186t	H19 6/18 0.0015~ 0.0044	H21 23/28 0.00094~ 0.23	H21 貝魚 13/14 貝魚 0.00049~ 0.011	H21 20/20 0.67~22	2
H19 黒本	122-39-4	ジフェニルアミン	合成原料(染料、医薬品)、安定剤(火薬、塩素系溶剤用)、有機ゴム薬品 <sup>2)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 141、推計排出量 72、合計 212 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果-製造・輸入量公表値 1,356t	0.011~ 0.026 8/19				2

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	88-72-2	<i>o</i> -ニトロトルエン	染料中間物(トルイジン、フクシン)、有機合成 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 55、推計排出量、合計 55 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 1,891t				1/8 23 ~ 31	2
H21 黒本	75-52-5	ニトロメタン	溶剤、界面活性剤、医薬中間体 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 1,655、推計排出量、合計 1,655 平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値(ニトロメタンとして) 1,000 ~ 10,000t 未満				7/7 22 ~ 120	2
H14 要調査項目	117-84-0	フタル酸ジ- <i>n</i> -オクチル	可塑剤 <sup>1)</sup>	平成 21(2009)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 171、推計排出量 2、合計 173 平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 100,000 ~ 1,000,000t 未満		検出地点あり			2

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (μg/L)	底質 (μg/g-dry)	生物 (μg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H18 黒本 H20 黒本	126-73-8	リン酸トリ- <i>n</i> -ブチル	溶媒、可塑剤、消泡剤、金属抽出剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 2,113、推計排出量 0、合計 2,113 平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 100 ~ 1,000t 未満	H18 nd ~ 84 10/19  H20 29/43 0.0080 ~ 0.094	H20 41/60 0.00073 ~ 0.019	H20 貝 6/7 魚 3/16 鳥 1/2 貝 0.00041 ~ 0.0012 魚 0.00041 ~ 0.00070 鳥 0.00041 ~ 0.00063		2
H14 要調査項目	103-11-7	アクリル酸 2-エチルヘキシル	原料(アクリル繊維、塗料、接着剤) <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 10,000 ~ 100,000t 未満		検出地点あり			1
H14 要調査項目	818-61-1	アクリル酸 2-ヒドロキシエチル	原料(熱硬化性塗料、接着剤)、合成樹脂の改質剤、繊維加工助剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 317、推計排出量 0、合計 317 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 10,728t 平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 10,000 ~ 100,000t 未満		検出地点あり			1
H14 要調査項目	30560-19-1	アセフェート	農薬(殺虫剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 0、推計排出量 376,008、合計 376,008	検出地点あり				1

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	50512-35-1	イソプロチオラン	農薬 (殺菌剤) <sup>2)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 11、推計排出量 86,109、合計 86,119	H6 ~ H21 指針値超過地点なしだが、検出地点有の可能性あり				1
H19 黒本	105-67-9	2,4-キシレノール	中間体 (医薬、顔料、抗酸化剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 57、推計排出量、合計 57 平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 10 ~ 100t 未満	5/9 0.0016 ~ 0.0043				1
H19 黒本 H20 黒本	91-22-5	キノリン	原料 (ニコチン酸、農薬、界面活性剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 129、推計排出量、合計 129 平成 22 年 (2010 年) 推定製造量 900t <sup>1)</sup>	H19 4/7 0.0030 ~ 0.013			H20 11/15 0.32 ~ 12	1
H21 黒本	98-82-8	クメン (別名: イソプロピルベンゼン)	有機合成原料 (フェノール、アセトン)、ラッカー希釈剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 221,117、推計排出量 151,127、合計 372,245				20/21 5.1 ~ 990	1
H19 黒本	120-61-6	テレフタル酸ジメチル	原料 (ポリエステル系合成繊維、フィルム) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 2,687、推計排出量、合計 2,687 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 164,846t				8/9 0.030 ~ 1.0	1



区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	156-60-5	トランス-1,2-ジクロロエチレン	洗剤の微量添加物 <sup>2)</sup>	平成 21(2009)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 8,451、推計排出量、合計 8,451 (2009)年度化審法監視化学物質届出結果-製造・輸入量公表値 106t	H6 ~ H21 指針値超過地点なしだが、検出地点有の可能性あり				1
環境基準項目 (人の健康の保護に係わる)	79-00-5	1,1,2-トリクロロエタン	洗剤 <sup>2)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 7,577、推計排出量、合計 7,577	H12 ~ H21 基準値超過検体あり				1
H16 要調査項目	41814-78-2	トリシクロゾール	農薬 (除草剤) <sup>1)</sup>		検出地点あり				1
H15 要調査項目	95-53	o-トルイジン	染料中間体 (アゾ系、硫化系) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 2,738、推計排出量 2,346、合計 5,084 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 509t	検出地点あり				1
H16 要調査項目	2597/3/7	フェントレート	農薬 (殺虫剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 0、推計排出量 88,184、合計 88,184	検出地点あり				1
H16 要調査項目	69327-76-0	ブプロフェジン	農薬 (殺虫剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 0、推計排出量 68,867、合計 68,867	検出地点あり				1

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H18 要調査項目	38775-22-3	フルオレスセント・351			検出地点あり				1
H15 要調査項目	51218-49-6	プレチラクロール	農薬(除草剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 0、推計排出量 189,951、合計 189,951	検出地点あり				1
H16 要調査項目	950-37-8	メチダチオン	農薬(殺虫剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 0、推計排出量 172,614、合計 172,614	検出地点あり				1
H14 要調査項目	108-89-4	4-メチルピリジン	原料(医薬、界面活性剤)、溶剤 <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 1,000 ~ 10,000t 未満		検出地点あり			1
H18 要調査項目	108-78-1	メラミン	原料(メラミン樹脂、接着剤、医薬) <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 10,000 ~ 100,000t 未満	検出地点あり				1
H16 要調査項目	64249-01-0	アニロホス	農薬(除草剤) <sup>3)</sup>		検出地点あり				0
H21 黒本	504-29-0	2-アミノピリジン	中間体(医薬、農薬) <sup>1)</sup>		7/11 0.0025 ~ 0.014	11/11 0.000021 ~ 0.0012			0
H18 黒本 H20 黒本	84-65-1	9,10-アントラセンジオン(別名:アントラキノン)	染料中間体、パルプ蒸解剤 <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 1,000 ~ 10,000t 未満	H18 nd ~ 140 1/7			H20 5/5 1.1 ~ 8.7	0

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	18854-01-8	イソキサチオン	農薬(殺虫剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 0、推計排出量 49,592、合計 49,592	H6 ~ H21 指針値超過地点あり				0
H21 要調査項目	32306-29-9	イソキサチオン(カルホス)オキソン体	イソキサチオン酸化物		検出地点あり				0
H16 要調査項目	85785-20-2	エスプロカルブ	農薬(除草剤) <sup>1)</sup>	平成 21(2009)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 0、推計排出量 88,618、合計 88,618	検出地点あり				0
H15 要調査項目	103-69-5	N-エチルアニリン	有機合成原料、中間体(染料、ゴム薬、爆薬、医薬) <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 10 ~ 100t 未満	検出地点あり				0
H16 要調査項目	298-04-4	エチルチオメトン	農薬(殺虫剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 7、推計排出量 169,689、合計 169,696	検出地点あり				0
H18 黒本	106-88-7	1,2-エポキシブタン	トリクロロエタンの安定剤、原料(医薬、農薬) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 356、推計排出量 -、合計 356 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果製造・輸入量公表値 707t	nd ~ 4.7 2/5			nd ~ 160 2/3	0

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
要監視項目 (人の健康の保護に係わる)	10380-28-6	オキシシン銅 (有機銅)	農薬 (殺菌剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 230 (大気、公共用水域、土壌、埋立)、253,207 推計排出量、合計 253,437	H6 ~ H21 指針値超過地点なしだが、検出地点有の可能性あり				0
H21 要調査項目	248593-16-0	オリサストロピン	農薬 (殺菌剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)農薬年度: 輸出 18.5t (原体)、輸入 90.0t (原体) <sup>3)</sup>	検出地点あり				0
H16 要調査項目	125306-83-4	カフェンストール	農薬 (除草剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 0、推計排出量 59,940、合計 59,940	検出地点あり				0
H16 要調査項目	104030-54	カルプロパミド	農薬 (抗菌剤) <sup>3)</sup>		検出地点あり				0
H18 黒本	576-26-1	2,6-キシレノール	耐熱性樹脂原料、抗酸化剤、防カビ剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 1,040、推計排出量 139、合計 1,179 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 11,832t	nd ~ 3.4 2/6				0
H14 要調査項目	107-22-2	グリオキサール	繊維処理剤、紙仕上げ剤、原料 (医薬、香料)、消臭剤、土壌硬化剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 93、推計排出量 40、合計 133 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 1,472t	検出地点あり				0

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H19 黒本	90-13-1	1-クロロ ナフタレ ン	洗浄剤 <sup>2)</sup>	平成 19(2007) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 なし(100t 未 満)				5/8 0.16 ~ 0.73	0
H18 黒本	110-19-0	酢酸イソ ブチル	香料、ニ トロセ ルロー ス溶剤 <sup>1)</sup>	平成 19(2007) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値 1,000 ~ 10,000t 未満				nd ~ 570 4/7	0
H18 黒本	3864-99-1	2,4-ジ -tert-ブチ ル-6-(5-ク ロロ -2H1,2,3- ベンゾト リアゾ ル-2-イル) フェノー ル	紫外線 吸収剤 <sup>1)</sup>	平成 21(2009) 年度化審法監 視化学物質届 出結果製造・輸 入量公表値 3t	nd ~ 0.23 4/6	0.18 ~ 41 6/6	0.053 ~ 3.0 10/10		0
H18 黒本	63935-38- 6	$\alpha$ -シアノ -3-フェノ キシベン ジル=2,2- ジクロロ -1-(4-エト キシフェ ニル)シク ロプロパ ンカルボ キシラ ート(別名: シクロプ ロトリン)	農薬(殺 虫剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010) 農薬年度: 製造 16.6t(2%粒 剤) 61.0t(5% パック) <sup>3)</sup>	nd ~ 120 1/5			nd 0/5	0
H19 黒本	28575-17- 9	ジエチル ビフェニ ル	熱媒体 <sup>1)</sup>	平成 19(2007) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 なし(100t 未 満)	0/13 -	2/11 0.000076 ~ 0.0071	魚鳥 1/10 魚鳥 0.000059 ~ 0.000090		0

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H19 黒本	110-83-8	シクロヘキセン	シクロヘキサノール、L-リジン中間体、特殊溶剤、シクロヘキセンオキサイド等各種有機合成原料 <sup>1)</sup>	平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 874t	6/11 0.00029 ~ 0.014	1/11 0.00057 ~ 0.0027			0
環境基準項目(人の健康の保護に係わる)	156-59-2	シス-1,2-ジクロロエチレン	フェノール類などの反応溶剤 <sup>1)</sup> 1,1-ジクロロエチレン製造の副生成物 <sup>2)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 3,587、推計排出量 0、合計 3,587	H12 ~ H21 基準値超過検体あり				0
H21 要調査項目	165252-70-0	ジノテフラン	農薬(殺虫剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)農薬年度: 製造 269.0t(原体)、246.0t(顆粒水溶剤)、1,763.9t(0.5%DL粉剤)、1,752.0t(1%粉剤)、129.8t(2%粉剤)、3.6t(1キロ剤)、84.4kL(液剤)、11.5t(豆つぶ剤)、輸出 168.6t(原体)、96.2t(製剤) <sup>3)</sup>	検出地点あり				0
H20 黒本	74-31-7	N,N'-ジフェニル-p-フェニレンジアミン	有機ゴム薬品(老化防止剤) <sup>1)</sup>		H16 0/6 - H20 0/48 -			H16 1/1 0.002 ~ 0.009	0

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H18 黒本	110-52-1	1,4-ジブ ロモブタ ン	医薬原 料 <sup>1)</sup>	平成 22 年 (2010年): 推 定製造量 30t <sup>1)</sup>	nd ~ 4.0 1/5				0
H19 黒本 H20 黒本	103-50-4	ジベンジ ルエーテ ル(別名: [[ベンジ ルオキシ)メ チル]ベン ゼン)	染色キ ャリヤ ー、香料 <sup>1)</sup>	平成 19(2007) 年度化審法監 視化学物質届 出結果公表値 なし(100t 未 満)	H19 1/8 0.0052 ~ 0.0083	H19 3/6 0.00018 ~ 0.021		H20 3/6 0.14 ~ 0.59	0
H19 黒本	26898-17- 9	ジベンジ ルトルエ ン	2 次可 塑剤、コ ンデン サー絶 縁油、感 圧紙用 インク 溶剤 <sup>1)</sup>	平成 21(2009) 年度化審法監 視化学物質届 出結果 製造・輸 入量公表値 632t	8/13 0.00049 ~ 0.0053	9/11 0.0011 ~ 0.74	魚鳥 5/10 魚鳥 0.000058 ~ 0.036		0
H16 要調 査項目	22936-75- 0	ジメタメ トリン	農薬(除 草剤) <sup>1)</sup>		検出地点 あり				0
H18 要調 査項目	573-98-8	1,2-ジメ チルナフ タレン	(ジメ チルナ フタレ ン類と して)中 間体(染 料、顔 料)、樹 脂原料 <sup>1)</sup>	平成 19(2007) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値(ジ メチルナフタ レン類として) 1,000 ~ 10,000t 未満	検出地点 あり				0
H18 要調 査項目	575-43-9	1,6-ジメ チルナフ タレン	(ジメ チルナ フタレ ン類と して)中 間体(染 料、顔 料)、樹 脂原料 <sup>1)</sup>	平成 19(2007) 年度化学物質 の製造・輸入量 に関する実態 調査確報値(ジ メチルナフタ レン類として) 1,000 ~ 10,000t 未満	検出地点 あり				0

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	6165-51-1	1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン	感圧紙染料溶剤、工業用コンデンサーオイル、可塑剤(エポキシ樹脂、ウレタン樹脂)、トリクロロエタン代替溶剤 <sup>4)</sup>	平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 351t	3/7 0.0021 ~ 0.017	13/13 0.00004 ~ 0.065			0
H15 要調査項目	1014-70-6	シメトリン	農薬(除草剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 0、推計排出量 46,779、合計 46,779	検出地点あり				0
H16 要調査項目	42609-52-9	ダイムロン	農薬(除草剤) <sup>1)</sup>		検出地点あり				0
H18 要調査項目	134-32-7	$\alpha$ -ナフチルアミン	原料(染料、ゴム薬) <sup>4)</sup>		検出地点あり				0
H19 黒本	6423-43-4	二硝酸プロピレン						1/8 2.0 ~ 3.9	0
H20 黒本	88-74-4	<i>o</i> -ニトロアニリン	原料(医薬、染料、顔料、ゴム薬) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 0、推計排出量、合計 0 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 736t		2/15 0.00010 ~ 0.00022		0/14 -	0
H19 黒本	6731-36-8	1,1-ビス( <i>tert</i> -ブチルジオキシ)-3,3,5-トリメチルシクロヘキサン	樹脂製造用重合剤、硬化剤、ポリマー架橋剤 <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 100 ~ 1,000t 未満	0/11 -	1/11 0.00014 ~ 0.00017			0



区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H19 黒本	92-52-4	ピフェニル	熱媒体、 染色助 剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010) 年度 PRTR 集 計結果 (kg/年) 届出排出量 269、推計排 出量 791、合計 1,061 平成 21(2009) 年度化審法監 視化学物質届 出結果 製造・輸 入量公表値 4,544t				7/8 4.5 ~ 28	0
H20 黒本	110-85-0	ピペラジ ン	(アン チモン、 ビスマ ス、金 の)検出 試薬、ウ レタン 触媒、有 機合成 原料 <sup>1)</sup>	平成 22(2010) 年度 PRTR 集 計結果 (kg/年) 届出排出量 4,720、推計排 出量 2,624、合 計 7,344 平成 21(2009) 年度化審法監 視化学物質届 出結果 製造・輸 入量公表値 2,286t	4/31 0.012 ~ 0.040				0
H17 要調 査項目	110-86-1	ピリジン	医薬反 応溶媒、 無水金 属塩の 溶剤、界 面活性 剤原料、 有機合 成原料 <sup>1)</sup>	平成 22(2010) 年度 PRTR 集 計結果 (kg/年) 届出排出量 47,587、推計排 出量 4,404、合 計 51,991 平成 21(2009) 年度化審法監 視化学物質届 出結果 製造・輸 入量公表値 3,082t	検出地点 あり				0
H16 要調 査項目	119-12-0	ピリダフ エンチオ ン	農薬(殺 虫剤、現 在は失 効) <sup>5)</sup>		検出地点 あり				0
H16 要調 査項目	57369-32- 1	ピロキロ ン	農薬(殺 菌剤) <sup>1)</sup>		検出地点 あり				0

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H20 黒本	91-76-9	6-フェニル-1,3,5-トリアジン-2,4-ジアミン	原料(塗料、接着剤、化粧品板樹脂) <sup>1)</sup>	平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 2,555t	6/8 0.0015 ~ 0.012			5/5 0.022 ~ 0.22	0
H21 要調査項目	89269-64-7	フェリムゾン	農薬(殺菌剤) <sup>3)</sup>	010 年度 PRTR 集計結果 (kg/年)届出排出量 0、推計排出量 123,715、合計 123,715	検出地点あり				0
H16 要調査項目	27355-22-2	フサライド	農薬(殺菌剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年)届出排出量 0、推計排出量 206,503、合計 206,503	検出地点あり				0
H18 黒本	102-81-8	2-(ジ-n-ブチルアミノ)エタノール	触媒(ポリウレタン合成)、繊維助剤、乳化剤 <sup>2)</sup>	平成 21(2009)年度 PRTR 集計結果 (kg/年)届出排出量 143、推計排出量 18、合計 161	nd ~ 76 1/5			nd 0/5	0
H21 黒本	4170-30-3	2-ブテナール(別名:クロトンアルデヒド)	原料(クロトン酸、ソルビン酸原料、医薬、農薬) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年)届出排出量 522、推計排出量-、合計 522	20/23 0.012 ~ 0.25				0
H15 要調査項目	66332-96-5	フラトラニル	農薬(殺菌剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年)届出排出量 2、推計排出量 81,836、合計 81,838	検出地点あり	検出地点あり			0
H18 黒本	98-01-1	フルフラール	溶剤、原料(フラン樹脂、医薬品)、潤滑油精製 <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 1,000 ~ 10,000t 未満				nd ~ 85 5/7	0

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
要監視項目 (人の健康 の保護に係 わる)	23950-58- 5	プロピザ ミド	農薬(除 草剤) <sup>2)</sup>	平成 22(2010) 年度 PRTR 集 計結果(kg/年) 届出排出量 0、 推計排出量 29,600、合計 29,600	H6 ~ H21 指針値超 過地点な しだが、検 出地点有 の可能性 あり				0
H15 要調 査項目	27605-76- 1	プロベナ ゾール	農薬(殺 菌剤) <sup>1)</sup>		検出地点 あり	検出地点 あり			0
H16 要調 査項目	74712-19- 9	プロモブ チド	農薬(除 草剤) <sup>1)</sup>		検出地点 あり				0
H16 要調 査項目	66063-05- 6	ペンシク ロン	農薬(殺 菌剤) <sup>1)</sup>		検出地点 あり				0
H16 要調 査項目	83055-99- 6	ベンスル フロンメ チル	農薬(除 草剤) <sup>1)</sup>		検出地点 あり				0
H19 要調 査項目	95-16-9	ベンゾチ アゾール	食品添 加物 <sup>4)</sup>		検出地点 あり				0
H16 要調 査項目	82560-54- 1	ベンフラ カルブ	農薬(殺 虫剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010) 年度 PRTR 集 計結果(kg/年) 届出排出量 0、 推計排出量 65,646、合計 65,646	検出地点 あり				0
H18 黒本	109-59-1	2-(1-メチ ルエトキシ) エタノ ール	塗料用 溶剤 <sup>1)</sup>	平成 21(2009) 年度化審法監 視化学物質届 出結果 製造・輸 入量公表値 367t				nd ~ 30 3/7	0
H18 黒本	136191-64 -5	メチル =2-(4,6-ジ メトキシ -2-ピリミ ジニルオ キシ) -6-[1-(メ トキシイ ミノ)エチ ル]ベンゾ アート(別 名:ピリミ ノバック メチル)	農薬(除 草剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010) 年度 PRTR 集 計結果(kg/年) 届出排出量 0、 推計排出量 11,552、合計 11,552	nd ~ 2.5 1/13			nd 0/5	0

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H16 要調査項目	73250-68-7	メフェナセツト	農薬(除草剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 0、推計排出量 82,285、合計 82,285	検出地点あり				0
H16 要調査項目	55814-41-0	メプロニル	農薬(殺菌剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 0、推計排出量 51,114、合計 51,114	検出地点あり				0
H14 要調査項目	25155-23-1	りん酸トリキシレニル	可塑剤、難燃性作動油原料 <sup>1)</sup>	平成 19(2007)年度化学物質の製造・輸入量に関する実態調査確報値 10,000 ~ 100,000t 未満		検出地点あり			0
H14 要調査項目	78-42-2	りん酸トリス(2-エチルエキシル)	可塑剤 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 2,108、推計排出量、合計 2,108	検出地点あり	検出地点あり			0
H14 要調査項目	26967-76-0	りん酸トリス(イソプロピルフェニル)	可塑剤、難燃剤 <sup>4)</sup>		検出地点あり				0
H21 黒本	608-93-5	ペンタクロロベンゼン	(過去の用途例として)難燃剤、農薬製造副生成物、燃焼に伴う非意図的生成物 <sup>8)</sup>					温 37/37 寒 37/37 温 0.020~0.21 寒 0.0050~0.12	実施しない(化審法第一種特定物質)

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H21 黒本	36355-01-8	ヘキサブ ロモビフ ェニル類	(過去の用途 例として)難燃 剤 <sup>8)</sup>		0/49 -	21/64 0.0000004 0~ 0.000012	貝 1/7 魚 12/18 鳥 2/2 貝 0.0000005 3~ 0.0000005 3 魚 0.0000004 3~ 0.0000060 鳥 0.0000012 ~ 0.0000021		実施しない (化審法第 一種特定物 質)
H21 黒本 H21 要調 査項目	1763-23-1	ペルフル オロオク タンスル ホン酸 (PFOS)	撥水撥 油剤及 び界面 活性剤 <sup>8)</sup>		49/49 0.000026 ~ 0.014	64/64 0.0000051 ~ 0.0019	貝 5/7 魚 17/18 鳥 2/2 貝 0.000018 ~ 0.00064 魚 0.0000090 ~ 0.015 鳥 0.000037 ~ 0.00089		実施しない (化審法第 一種特定物 質)
H21 黒本	40088-47-9	テトラブ ロモジフ ェニルエ ーテル類	(過去の用途 例として)難燃 剤 <sup>8)</sup>		44/49 0.000004 ~ 0.00016	51/64 0.000023 ~ 0.0014		温 37/37 寒 37/37 温 0.00011 ~ 0.018 寒 0.00004 ~ 0.0071	実施しない (化審法第 一種特定物 質)
H21 黒本	32534-81-9	ペンタブ ロモジフ ェニルエ ーテル類	(過去の用途 例として)難燃 剤 <sup>8)</sup>		43/49 0.000004 ~ 0.000087	57/64 0.000008 ~ 0.0017		温 33/37 寒 29/37 温 0.00006 ~ 0.018 寒 0.00007 ~ 0.010	実施しない (化審法第 一種特定物 質)
H21 黒本	36483-60-0	ヘキサブ ロモジフ ェニルエ ーテル類	(過去の用途 例として)難燃 剤 <sup>8)</sup>		26/49 0.0000007 ~ 0.000018	53/64 0.000002 ~ 0.0026		温 19/37 寒 24/37 温 0.00011 ~ 0.0020 寒 0.00010 ~ 0.027	実施しない (化審法第 一種特定物 質)

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 ( $\mu\text{g/L}$ )	底質 ( $\mu\text{g/g-dry}$ )	生物 ( $\mu\text{g/g-wet}$ )	大気 ( $\text{ng/m}^3$ )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H21 黒本	68928-80-3	ヘプタブロモジフェニルエーテル類	(過去の用途例として)難燃剤 <sup>8)</sup>		9/49 0.000003 ~ 0.000040	51/64 0.000004 ~ 0.016		温 17/37 寒 25/37 温 0.0001 ~ 0.0017 寒 0.0001 ~ 0.020	実施しない (化審法第一種特定物質)
H21 黒本	95-80-7	2,4-ジアミノトルエン(別名:2,4-トルエンジアミン)	ポリウレタン樹脂原料、染料中間物 <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 91、推計排出量 9,704、合計 9,795 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果製造・輸出入量公表値 31,759t	H11 0/36 - H17 0/4 - H21 0/24 -	H11 1/35 0.029 H17 2/6 0.00078 ~ 0.0017			実施しない (信頼性評価実施済)
H21 要調査項目	94-75-7	2,4-D(2,4-ジクロロフェノキシ酢酸)	農薬(除草剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 0、推計排出量 114,677、合計 114,677	検出地点あり				実施しない (信頼性評価済)
H21 黒本	1163-19-5	デカブロモジフェニルエーテル(PBDE#209)	難燃剤(ポリスチレン、ABS樹脂、ポリエステル用) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 1,546、推計排出量 199、合計 1,745	26/49 0.00021 ~ 0.0034	64/64 0.00003 ~ 0.88		温 28/37 寒 29/37 温 0.005 ~ 0.031 寒 0.005 ~ 0.045	実施しない (信頼性評価済)
H21 黒本	634-66-2	1,2,3,4-テトラクロロベンゼン	1,2,4,5-テトラクロロベンゼン合成の際の副生成物 <sup>7)</sup>					温 37/37 寒 37/37 温 0.021 ~ 0.48 寒 0.026 ~ 0.38	実施しない (テトラクロロベンゼンとして信頼性評価実施済)
H21 黒本	634-90-2	1,2,3,5-テトラクロロベンゼン	1,2,4,5-テトラクロロベンゼン合成の際の副生成物 <sup>7)</sup>					温 37/37 寒 37/37 温 0.0041 ~ 0.11 寒 0.0093 ~ 0.12	同上

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H21 黒本	95-94-3	1,2,4,5-テトラクロロベンゼン	(過去の用途例として)農薬等中間体。特に2,4,5-トリクロロフェノールの合成原料 <sup>7)</sup>					温 37/37 寒 37/37 温 0.021~0.15 寒 0.0046~0.12	同上
H21 黒本 H21 要調査項目	335-67-1	ペルフルオロオクタン酸 (PFOA)	撥水撥油剤及び界面活性剤 <sup>8)</sup>		49/49 0.00025 ~ 0.031	64/64 0.0000033 ~ 0.00050	貝 7/7 魚 17/18 鳥 2/2 貝 0.000010 ~ 0.000094 魚 0.000010 ~ 0.00049 鳥 0.000016 ~ 0.000058		実施しない (信頼性評価済)
H21 要調査項目	25155-30-0 等	LAS	界面活性剤 <sup>2)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 19,415、推計排出量 15,048,229、合計 15,067,644	検出地点あり				実施しない (信頼性評価済)
H21 要調査項目	104-40-5	ノニルフェノール	合成原料(界面活性剤)、安定剤(エチルセルロース)、合成中間体、加硫促進剤、その他(ゴム助剤) <sup>2)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果 (kg/年) 届出排出量 568、推計排出量 3,199、合計 3,766 平成 21(2009)年度化審法監視化学物質届出結果 製造・輸入量公表値 7,658t	検出地点あり				実施しない (試験実施済)

区分	CAS 番号	調査対象物質	用途	PRTR 集計排出量等	水質 (µg/L)	底質 (µg/g-dry)	生物 (µg/g-wet)	大気 (ng/m <sup>3</sup> )	PubMed 及び TOXLINE 及び JDreamII 関連文献数
H21 要調査項目	121-75-5	馬拉チオン(別名: マラソン)	農薬(殺虫剤) <sup>1)</sup>	平成 22(2010)年度 PRTR 集計結果(kg/年)届出排出量 0、推計排出量 130,678、合計 130,678	検出地点あり				実施しない(試験実施済)
H21 要調査項目	特定できない	銅			検出地点あり				実施しない(対象物質が特定できない)
H21 要調査項目	7790-93-4	塩素酸	次亜塩素酸ナトリウム等の消毒薬分解生成物 <sup>4)</sup>		検出地点あり				実施しない(分解物)

参考文献

- 1) 化学工業日報社、16112 の化学商品(2012)及びバックナンバー
- 2) 環境省、PRTR インフォメーション広場 対象物質情報 ([http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/target\\_chemi.html](http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/target_chemi.html))
- 3) 社団法人日本植物防疫協会、農薬要覧(農林水産省消費・安全局農産安全管理課・植物防疫課監修)
- 4) 製品評価技術基盤機構、化学物質情報提供システム(CHRIP) (<http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>)
- 5) 独立行政法人農林水産消費安全技術センター、登録農薬有効成分(魚毒性・毒性一覧)失効有効成分一覧 (<http://www.acis.famic.go.jp/toroku/index.htm>)
- 6) 環境省環境保健部環境安全課、化学物質環境実態調査 - 化学物質と環境 (<http://www.env.go.jp/chemi/kurohon/index.html>)
- 7) US National Library of Medicine、Hazardous Substances Data Bank (HSDB) (<http://toxnet.nlm.nih.gov/cgi-bin/sis/htmlgen?HSDB>)
- 8) 環境省総合環境政策局環境保健部企画課化学物質審査室、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律について (<http://www.env.go.jp/chemi/kagaku/kisei/class1.html>)